



2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本酸素ホールディングス株式会社

コード番号 4091 URL <https://www.nipponsanso-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 濱田敏彦

問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 梅原崇禎 TEL 03-5788-8512

四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	218,303	18.3	24,572	74.6	24,572	74.6	16,403	115.0	16,062	116.0	20,387	14.3
2021年3月期第1四半期	184,503	△12.3	14,070	△35.2	14,070	△33.3	7,629	△40.2	7,436	△39.1	17,835	—

(参考) 税引前利益 2022年3月期第1四半期 22,202百万円(93.1%) 2021年3月期第1四半期 11,495百万円(△37.1%)

コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	37.12	—
2021年3月期第1四半期	17.19	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,842,429	557,316	526,326	28.6
2021年3月期	1,836,294	543,900	513,164	27.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	865,000	5.7	96,000	10.0	96,500	8.6	60,000	5.5	58,200	5.4	134.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(参考) 税引前利益 通期 86,000百万円(10.7%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	433,092,837株	2021年3月期	433,092,837株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	342,615株	2021年3月期	342,332株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	432,750,371株	2021年3月期1Q	432,753,552株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(全般の概況)

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年6月30日まで)における当社グループの事業環境は、前期に続き新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない状況ではありますが、欧州や米国を中心に経済の回復がみられ、セパレートガス(酸素、窒素、アルゴン)の出荷数量は、前期に比べて大きく増加しました。なお、当第1四半期連結累計期間での新型コロナウイルス感染症の業績への影響ですが、売上収益及びコア営業利益は前期ほどのマイナスの影響は受けておりません。一部の事業活動への影響は継続しているものの、グローバル各極においては、セパレートガスの安定供給体制を維持しております。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上収益2,183億3百万円(前年同期比18.3%増加)、コア営業利益245億72百万円(同74.6%増加)、営業利益245億72百万円(同74.6%増加)、親会社の所有者に帰属する四半期利益160億62百万円(同116.0%増加)となりました。

なお、コア営業利益は営業利益から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出しております。

(事業別の概況)

セグメント業績は、次のとおりです。

なお、セグメント利益はコア営業利益で表示しております。

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成した数値で比較しております。

① 日本ガス事業

産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの売上収益は、全般的に関連業界での生産活動が回復し、前期に比べ大きく増加しました。また、エレクトロニクス関連では電子材料ガスの売上収益も増加しました。機器・工事では、医療向け関連機器の販売は好調であり、エレクトロニクス関連も、前期に比べ増収となりました。

以上の結果、日本ガス事業の売上収益は、830億85百万円(前年同期比8.0%増加)、セグメント利益は、65億3百万円(同36.9%増加)となりました。

② 米国ガス事業

産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの売上収益は、生産活動の回復により、バルクガスを中心に大きく増加しました。機器・工事では、前期に需要が冷え込んだ溶接・溶断関連機材が回復し、大幅に増収となりました。また、エレクトロニクス関連での売上収益も増加しました。

以上の結果、米国ガス事業の売上収益は、516億59百万円(前年同期比15.1%増加)、セグメント利益は、70億43百万円(同100.1%増加)となりました。

③ 欧州ガス事業

前期は、新型コロナウイルス感染症の拡大による深刻な影響で、主要地域となるイベリア、ドイツ、イタリアでは、生産活動全般で停滞が生じたことにより、全般的に需要は大きく落ち込みましたが、前期の後半から徐々に回復基調が続いており増収となりました。

以上の結果、欧州ガス事業の売上収益は、474億89百万円(前年同期比35.3%増加)、セグメント利益は、66億41百万円(同99.1%増加)となりました。

④ アジア・オセアニアガス事業

産業ガス関連では、関連業界での生産活動が回復したことで、主力製品であるセパレートガスの売上収益は増加しました。主に豪州地域での販売が多くを占めるLPガスでは、仕入の価格上昇による販売単価の上昇と出荷数量が堅調に推移し、増収となりました。エレクトロニクス関連では、東アジアでの電子材料ガスの出荷数量は堅調に推移し、増収となりました。機器・工事では、エレクトロニクス関連で増収となりました。

以上の結果、アジア・オセアニアガス事業の売上収益は、292億71百万円(前年同期比29.8%増加)、セグメント利益は、30億35百万円(同40.8%増加)となりました。

⑤ サーモス事業

サーモス事業は、国内では、ケータイマグやスポーツボトルの出荷数量が前期から大幅に回復し、売上収益は大きく増加しました。また、自宅で過ごす時間の長い新たなライフスタイルが浸透したことに関連し、前期に続き、フライパンやタンブラーの販売数量は増加しました。海外では、販売地域での景気回復により出荷数量は増加しました。

以上の結果、サーモス事業の売上収益は、67億44百万円（前年同期比 36.0%増加）、セグメント利益は、15億1百万円（同 143.8%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は1兆8,424億29百万円で、前連結会計年度末比で61億34百万円の増加となっております。為替の影響については、前連結会計年度末に比べ期末日レートの米ドルで0円13銭の円高、ユーロで1円78銭の円安となるなど、約101億円多く表示されております。

〔資産〕

流動資産は、営業債権及び棚卸資産の増加や現金及び現金同等物の減少等により、前連結会計年度末比で49億14百万円増加し、3,738億16百万円となっております。

非流動資産は、のれんの増加や有形固定資産の減少等により、前連結会計年度末比で12億19百万円増加し、1兆4,686億13百万円となっております。

〔負債〕

流動負債は、社債及び借入金の増加や未払法人所得税の減少等により、前連結会計年度末比で97億58百万円増加し、3,357億78百万円となっております。

非流動負債は、社債及び借入金の減少や繰延税金負債の増加等により、前連結会計年度末比で170億39百万円減少し、9,493億34百万円となっております。

〔資本〕

資本は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による増加や利益剰余金の配当による減少、在外営業活動体の換算差額の増加等により、前連結会計年度末比で134億16百万円増加し、5,573億16百万円となっております。

なお、親会社所有者帰属持分比率は28.6%で前連結会計年度末に比べ0.7ポイント高くなっております。

(キャッシュ・フローの分析)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期利益、減価償却費及び償却費、法人所得税の支払額又は還付額等により、営業活動によるキャッシュ・フローは248億43百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出等により、投資活動によるキャッシュ・フローは167億39百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出、短期借入金の純増減額、コマーシャル・ペーパーの純増減額等により、財務活動によるキャッシュ・フローは151億53百万円の支出となりました。

これらの結果に、為替換算差額等を加えた当第1四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は、852億52百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月10日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	91,058	85,252
営業債権	182,077	186,181
棚卸資産	69,613	73,516
その他の金融資産	6,710	7,332
その他の流動資産	19,441	21,532
流動資産合計	368,901	373,816
非流動資産		
有形固定資産	685,733	682,947
のれん	455,036	457,679
無形資産	237,751	239,469
持分法で会計処理されている投資	32,295	33,034
その他の金融資産	49,739	48,496
退職給付に係る資産	2,467	2,448
その他の非流動資産	1,120	1,163
繰延税金資産	3,249	3,372
非流動資産合計	1,467,393	1,468,613
資産合計	1,836,294	1,842,429

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	96,093	93,630
社債及び借入金	131,721	149,911
未払法人所得税	11,022	6,909
その他の金融負債	58,428	55,335
引当金	469	449
その他の流動負債	28,284	29,541
流動負債合計	326,019	335,778
非流動負債		
社債及び借入金	780,895	761,253
その他の金融負債	29,453	28,084
退職給付に係る負債	14,037	14,209
引当金	3,870	4,135
その他の非流動負債	19,359	20,251
繰延税金負債	118,757	121,400
非流動負債合計	966,374	949,334
負債合計	1,292,394	1,285,112
資本		
資本金	37,344	37,344
資本剰余金	55,901	55,919
自己株式	△273	△275
利益剰余金	422,838	432,019
その他の資本の構成要素	△2,646	1,318
親会社の所有者に帰属する持分合計	513,164	526,326
非支配持分	30,736	30,990
資本合計	543,900	557,316
負債及び資本合計	1,836,294	1,842,429

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	184,503	218,303
売上原価	△113,769	△131,548
売上総利益	70,733	86,754
販売費及び一般管理費	△56,366	△62,796
その他の営業収益	545	509
その他の営業費用	△616	△567
持分法による投資損益 (△は損失)	△225	672
営業利益	14,070	24,572
金融収益	867	639
金融費用	△3,441	△3,009
税引前四半期利益	11,495	22,202
法人所得税	△3,865	△5,798
四半期利益	7,629	16,403
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	7,436	16,062
非支配持分	192	340
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	17.19	37.12

要約四半期連結包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	7,629	16,403
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	2,052	△301
確定給付制度の再測定	△31	0
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△33	38
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,987	△261
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	8,637	3,455
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の 純変動の有効部分	28	20
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△446	770
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	8,218	4,246
税引後その他の包括利益合計	10,205	3,984
四半期包括利益	17,835	20,387
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	17,482	20,029
非支配持分	352	358

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2020年4月1日残高	37,344	56,387	△268	379,322
四半期利益	—	—	—	7,436
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	7,436
自己株式の取得	—	—	△0	—
配当	—	—	—	△6,060
支配継続子会社に対する持分変動	—	△318	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△31
連結範囲の変動	—	—	—	△110
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△318	△0	△6,202
2020年6月30日残高	37,344	56,068	△269	380,556

その他の資本の構成要素

	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2020年4月1日残高	△71,170	19	7,709	—	△63,441	409,344	31,349	440,693
四半期利益	—	—	—	—	—	7,436	192	7,629
その他の包括利益	8,063	25	1,988	△31	10,045	10,045	159	10,205
四半期包括利益	8,063	25	1,988	△31	10,045	17,482	352	17,835
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△0	—	△0
配当	—	—	—	—	—	△6,060	△358	△6,418
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	△318	△2,288	△2,607
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△0	31	31	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	△110	—	△110
その他の増減	—	—	—	—	—	—	10	10
所有者との取引額等合計	—	—	△0	31	31	△6,490	△2,635	△9,126
2020年6月30日残高	△63,106	44	9,697	—	△53,364	420,336	29,065	449,402

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2021年4月1日残高	37,344	55,901	△273	422,838
四半期利益	—	—	—	16,062
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	16,062
自己株式の取得	—	—	△1	—
配当	—	—	—	△6,926
支配継続子会社に対する 持分変動	—	17	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	2
連結範囲の変動	—	—	—	43
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	17	△1	△6,881
2021年6月30日残高	37,344	55,919	△275	432,019

その他の資本の構成要素

	在外営業活 動体の換算 差額	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッジ の公正価値 の純変動の 有効部分	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	確定給付制 度の再測定	合計	親会社の所 有者に帰属 する持分 合計	非支配 持分	資本 合計
2021年4月1日残高	△18,029	71	15,310	—	△2,646	513,164	30,736	543,900
四半期利益	—	—	—	—	—	16,062	340	16,403
その他の包括利益	4,200	20	△254	0	3,967	3,967	17	3,984
四半期包括利益	4,200	20	△254	0	3,967	20,029	358	20,387
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△1	—	△1
配当	—	—	—	—	—	△6,926	△425	△7,352
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	—	17	242	259
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△1	△0	△2	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	43	—	43
その他の増減	—	—	—	—	—	—	78	78
所有者との取引額等合計	—	—	△1	△0	△2	△6,867	△104	△6,971
2021年6月30日残高	△13,828	92	15,054	—	1,318	526,326	30,990	557,316

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	11,495	22,202
減価償却費及び償却費	21,456	23,204
受取利息及び受取配当金	△376	△406
支払利息	3,428	3,009
持分法による投資損益(△は益)	225	△672
有形固定資産及び無形資産除売却損益(△は益)	△0	△28
営業債権の増減額(△は増加)	9,590	△3,255
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,666	△3,624
営業債務の増減額(△は減少)	△11,459	△3,376
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△98	△144
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	241	215
その他	△3,321	△717
小計	28,512	36,406
利息の受取額	55	52
配当金の受取額	650	1,758
利息の支払額	△3,659	△2,895
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△4,667	△10,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,892	24,843
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,242	△15,875
有形固定資産の売却による収入	148	513
投資の取得による支出	△187	△714
投資の売却及び償還による収入	5	11
子会社の取得による支出	—	△520
その他	△40	△154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,317	△16,739
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,211	13,800
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	24,000	11,000
長期借入れによる収入	48,690	1,762
長期借入金の返済による支出	△38,873	△32,167
リース負債の返済による支出	△1,986	△2,193
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△323	△2
配当金の支払額	△6,060	△6,926
非支配持分への配当金の支払額	△358	△425
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,875	△15,153
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	344	990
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	28,794	△6,059
現金及び現金同等物の期首残高	100,005	91,058
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	253
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	19	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	128,819	85,252

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。なお、報告にあたって事業セグメントの集約は行っておりません。

当社グループは、鉄鋼、化学、エレクトロニクス産業向けなどに国内外でガス事業を行っており、主要製品に関しては、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの各地域において、それぞれ生産・販売体制を構築しております。また、ステンレス製魔法瓶など家庭用品の製造・販売などの事業も行っております。したがって、当社は、「日本ガス事業」「米国ガス事業」「欧州ガス事業」「アジア・オセアニアガス事業」「サーモス事業」の5つを報告セグメントとしております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、持株会社体制への移行に伴い、各セグメントの経営成績をより適切に評価することを目的として、当第1四半期連結会計期間より、当社及び一部の連結子会社の報告セグメント並びに調整額を変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

※報告セグメント「国内ガス事業」は、「日本ガス事業」に名称を変更しております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス
日本ガス事業	酸素、窒素、アルゴン、炭酸ガス、ヘリウム、水素、アセチレン、ガス関連機器、特殊ガス（電子材料ガス、純ガス等）、電子関連機器・工事、半導体製造装置、溶断機器、溶接材料、機械装置、LPガス・関連機器、医療用ガス（酸素、亜酸化窒素等）、医療機器、安定同位体
米国ガス事業	
欧州ガス事業	
アジア・オセアニアガス事業	
サーモス事業	

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。なお、セグメント間の内部売上収益又は振替高は、主に市場実勢価格に基づいております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益及び損益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	日本ガス 事業	米国ガス 事業	欧州ガス 事業	アジア・ オセアニア ガス事業	サーモス 事業	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	76,923	44,898	35,109	22,559	4,959	184,450	53	184,503
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	5,145	4,080	2	563	14	9,807	△9,807	—
計	82,069	48,979	35,112	23,122	4,973	194,257	△9,753	184,503
セグメント利益(注2)	4,749	3,520	3,335	2,156	615	14,378	△308	14,070

- (注) 1. セグメント利益の調整額△308百万円には、セグメント間取引消去△94百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△214百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに配分していない当社におけるグループ管理費用であります。
2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	日本ガス 事業	米国ガス 事業	欧州ガス 事業	アジア・ オセアニア ガス事業	サーモス 事業	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	83,085	51,659	47,489	29,271	6,744	218,249	53	218,303
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	2,324	4,823	47	714	3	7,913	△7,913	—
計	85,410	56,482	47,536	29,986	6,747	226,163	△7,859	218,303
セグメント利益(注2)	6,503	7,043	6,641	3,035	1,501	24,726	△153	24,572

- (注) 1. セグメント利益の調整額△153百万円には、セグメント間取引消去157百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△311百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに配分していない当社におけるグループ管理費用であります。
2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

セグメント利益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
セグメント利益	14,070	24,572
営業利益	14,070	24,572
金融収益	867	639
金融費用	△3,441	△3,009
税引前四半期利益	11,495	22,202